



校旗のもとに

学校教育目標
仲良く
本気で
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

シンク・グローバリー・アクト・ローカリー！ 校長 藤井文則

6月の勝瀬小学校には、子供たちの歌や合奏が流れ、心温まる雰囲気になっています。昨年度までは、コロナ感染防止に配慮して、クラスごとの合奏のみの発表でしたが、本年度は学年全体で「勝瀬小学校に歌声が戻ってきた！」と、新しい一歩を踏み出したような気持ちです。※音楽主任を中心に、校内音楽会の看板もリニューアルしました！保護者公開日にはたくさんの方にご参会いただき、笑顔あふれる一日となりました。PTA、勝瀬助っ人団の皆様には、お手伝いいただき本当にありがとうございます。

私は音楽の三要素（メロディー・リズム・ハーモニー）にも、三つの心があるような気がしてなりません。自分の心をメロディーで表現することはチャレンジする心、みんなの合奏や合唱の伴奏を支えるリズムはがまんする心、そして仲間と音を合わせるハーモニーはもちろん豊かな心…その中でも、お互いの音と音が重なり合ってより音楽を楽しく豊かなものにするハーモニーを大人になっても大切にしてほしいな…と思います。



今年のお話朝会では、様々な角度からSDGsについて考えてもらいたいなと思っています。

お話朝会要旨 今日のお話朝会もSDGsのお話をします。今回はごみの問題です。いま、日本だけでなく、世界中で私たち人間が出すゴミが多くの問題を引き起こしています。テレビで見た人もいるかもしれませんが、私たちの捨てたコンビニの袋などをウミガメやくじらなどが餌と間違えて食べてしまい、死んでしまったり、私たちがコロナ感染防止のために着けていたマスクが捨てられて、それに海鳥が絡まって動けなくなって死んでしまう。こんなことが起きています。それだけでなく、私たちが捨てたプラスチックやビニールが、風や雨の力などで目に見えないくらい細くなって、動物の体を病気にしたり、私たち人間の体にも悪い病気を引き起こすだろうといわれています。このような小さなプラスチックのゴミをマイクロプラスチックと言います。みなさんは、世界中で起きているごみ問題をどう思いますか。もしかしたら、私ひとりでは解決することはできない…とか、私にはあまり関係ない…と思っていませんか。どんなに大きな問題でも、最初の一步は一人一人が身の回りのできる事から始めることが大切なんです。たとえば、校長先生はみんなの教室に行ったときには教室のゴミを拾うようにしています。ごみがきちんとごみ箱に捨てられ、きちんと処理されれば、動物が間違えて食べてしまったり、目に見えないようなマイクロプラスチックになってしまったりすることもなくなりますね。地球全体の大きな問題だとしても、初めの一步は小さなことから、自分ができることを始めてみてくださいね。ちょっとカッコよく英語でいうと「シンク・グローバリー・アクト・ローカリー」と言います。担任の先生や、おうちの人、英語担当の河野先生、そして校長先生にも疑問に思うことがあったら質問してみてくださいね。まずは、教室や廊下、校庭に落ちているごみに気が付いて拾える人になってください。そしてごみを減らすためにはどうしたらいいのかちょっと考えてみてくださいね。皆さんの、最初の一步が、世界中の動物や自然、そして未来の私たち人間を守ることにつながるんですよ。

お話朝会のあとの担任の先生のフォロー、そして教育実習生が食育の授業でSDGsに触れてくれたりしたおかげで、子供たちの中には、さっそく自主学習で「学校に行きたくてもいけない子供たちが世界はいるということ」や「給食を残さずに食べよう」、「ごみを拾おう」など様々なテーマについて調べてくれた人がいます。まさに「小さな一步」を踏み出してくれたわけですね！

